

地域公共交通会議からのお知らせ ★★★

（仮称）公共交通応援隊募集！！

地域公共交通会議では、（仮称）公共交通応援隊を結成し、みんなが笑顔になる地域公共交通の活性化に向けた取組やアイデアを考え、実現を目指す取組を始めます。

EVENT!

KNOWLEDGE

★こんな人に来てほしい★

- ・公共交通に興味のある方
- ・様々な分野の活動で活躍されている方
- ・楽しいイベントを企画するのが大好きな方
- ・公共交通について知識のある方

★ 今後の取組 ★

まずはみんなのアイデアを集めるためのミーティングを開催予定です。

応募人員

多数募集!!

人数の制限はありません

★ 応募方法 ★

応募用紙に必要事項記入の上、長久手市地域公共交通会議事務局 市役所経営管理課 ☎0561-56-0600 に提出してください。
応募用紙は、市役所経営管理課窓口やホームページ等でダウンロードできます。

「のりゃあせ」作ってみませんか？

「のりゃあせ」は、地域公共交通会議が発行する情報誌で、リニモ、名鉄バス、N-バスなどの地域公共交通に関する活性化の取組紹介やお知らせ、おすすめ情報などを市民の方と協力しながら紙面を作成し、発行しています。現在、「のりゃあせ」の作成に協力していただける、市民を募集していますので、興味のある方は、長久手市地域公共交通会議事務局（市役所経営管理課・電話0561-56-0600）まで、ご連絡ください。

お問い合わせ

長久手市地域公共交通会議事務局 長久手市行政経営部経営管理課

〒480-1196 長久手市岩作城の内60番地1 TEL 56-0600（直通）FAX 63-2100

URL <http://www.city.nagakute.lg.jp/>

THE NORRYAASE #5

「みんなで育む公共交通」の実現に向けて

この「のりゃあせ第5号」は、市民の皆様の協力で作成されています。

デザイン@SAITO
第4号より参加。
主にデザインを担当



長久手市では、リニモをはじめ、路線バス（名鉄バス）やN-バスが人々の移動を支えています。長久手市地域公共交通会議では、今後もこれらの公共交通を確保・維持し、利便性を向上していくため、市民のみなさんや交通事業者、行政が一体となって公共交通を「育んでいく」ことを目指して、様々な取組を進めています。公共交通かわら版「のりゃあせ」もこうした取組の一環として、市民の方と協力しながら作成し、市内公共交通に関する様々な情報をお届けしています。第5号では、「みんなで育む公共交通」をテーマに、新たに始めた市民協働の取組について紹介します。

教えて！みんなで育む公共交通

長久手市在住のA君は、リニモやN-バスをよく使います。たまたま耳にした「みんなで育む公共交通」の言葉が印象に残ったので長久手市地域公共交通会議の会長でもあるM先生に聞いてみることにしました。



A君

先生、この前たまたま市内で公共交通を「みんなで育む」って言葉を知りました。でもこれってどういうことなのでしょう？



A君

リニモやバスは普段利用しているけれど、あまり意識したことはありませんでした。でも「育む」ためにはどうすればいいんだろう？

これからの人口減少、高齢化社会においては、公共交通の運行は事業者や行政の力だけでは支えきれなくなります。そのため、市民のみなさんの協力が必要になります。でも、いきなり「支えよう」といわれても負担感よね。なので「支える」のではなく、「育む」のです。一人ではありません。市民・行政・事業者や市民と市民が交流を深めながら、みんなで長久手市の公共交通を育んでいきましょう！

M先生

3つの感を生むことが大切。

楽しみ感・お得感・達成感です。乗って出かける楽しみ、乗るとことでお得、まちへの貢献が出来るような取組をみんなで考え、始めるのです。長久手市では、市民のみなさんと協力する取組を始めたのですよ。取組については市役所の方に教えてもらいましょう。

M先生

市役所 経営管理課職員

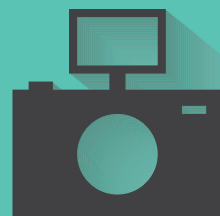


はい、先生。長久手市では、行政、専門家、事業者、市民で地域公共交通会議を組織し、バス路線の確保維持や公共交通の利便性向上を様々な取組を展開しています。今回、その取組みの一つである市民参加型の利用促進活動の展開として、「N-バスワークショップ」や「公共交通交流会」を開催しました。

Nーバス ワークショップの 開催



Nーバスが運行開始から15年。これからのNーバスをよりよいものするため、現在路線の見直しに取り組んでいます。
今回、将来のNーバスのあり方みんなで考えるため
ワークショップを開催しました。



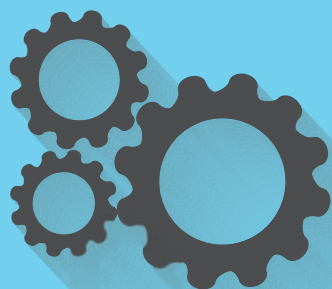
Nーバス ワーク ショップの 様子



毎回、とても活発な意見が出てきて、とても有意義なものとなりました。最後にはNーバスのあり方について意見をまとめました。このワークショップでの意見は、現在取り組んでいる路線見直しに反映させていただきます。



Nーバス担当者



Nーバスワークショップで出た、Nーバスのあり方

- ・市役所への移動を乗り継ぎなしにしてほしい。
- ・乗り継ぎにかかる時間をできるだけ短くしてほしい。
- ・他の公共交通機関との乗り継ぎを良くしてほしい。
- ・長久手古戦場駅を乗り継ぎ拠点としたらどうか。
- ・利用促進のためイベント等の企画やおすすめルートをつくってはどうか。
- ・Nーバスを「育む」市民ボランティアを募ってはどうか。



公共交通交流会の開催（平成27年2月8日）

公共交通交流会では、みんなで様々な取組で交流しながら、公共交通について考えました。

- ・地域公共交通会議会長 松本先生の講演
- ・Nーバスワークショップの取組紹介
- ・「公共交通みんなの声」



市役所経営管理課職員



今回は運営上、少し硬い雰囲気になってしまいました。公共交通に身近な人もそうでない人も、みんなが親しみ、楽しみながら、意見をどんどん出し、交流を深めるようなイベントにするのが次への課題です。
ただ、私たちは頭が固くて、なかなか楽しいイベントを思いつきません。ですので、イベントの企画に関してもみなさんのアイデアをいただきたいです。

「公共交通を育む」にはみんなの協力が必要なんだね。
新たな取組も始まっていて、公共交通に興味が出てきた。
たくさんの意見やアイデアが将来の公共交通のためになるといいな。
僕もいろいろと企画してみたいな。



A君



M先生



そうだね。みなさんからいただいた意見やアイデアを実現へ向けて育んでいくことは、行政や事業者が公共交通の大切な役割の一つだから、この取組も次の展開へつなげていきたいね。
公共交通は今後も私たちの生活を支える手段として重要な役割を果たすの同時に、人々の交流を深める「まちの装置」ともいえるから、公共交通を使ってみんながつながるまちにしたいですね。

みんなで育む公共交通についてお伝えしました